

## 一般質問(個人質問)

9月定例会では、9月6日・7日・10日・11日の4日間にわたって市政一般質問(21人)が行われ、当面する市政の重要課題について活発な論議が交わされました。今回の個人質問では会派ごとに1議員1項目ずつ計21項目を掲載しております。

## 市民クラブ

### ●原爆資料館駐車場

**議員** 原爆資料館の駐車場整備について伺いたい。

**市長** 原爆資料館の駐車場は、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の建設工事の中で整備されたもので、本市の条例に基づく附置義務台数を確保するため、平和会館の裏側まで駐車場を広げ、平成15年4月から供用開始されている。



原爆資料館及び追悼平和祈念館のバス駐車場(補修工事後)

追悼祈念館の建設にあたっては都市公園区域内の中にあることから緑化に意を用いるよう国に申し要望した結果、駐車場についても、大型バスの駐車スペース12台分が芝生と自然石を交互に配置するようなデザインとなっている。

同駐車場は、整備後4年以上が経過しており、芝生部分が大型バスやマイクロバスのタイヤで削り取られて段差が生じ、駐車する際にバウンドして利用者から苦情が寄せられるなど安全上問題があるため、近日中午に段差を解消する補修工事を行いたい。

### ●斜面市街地対策

**議員** 斜面市街地の河川の暗渠化による道路整備について伺いたい。

**市長** 本市では、斜面地の生活環境の改善や防災性の向上によって人口減少に歯止めをかけ、定着化を図る方策として、斜面市街地再生事業に取り組みしており、現在、この事業の進捗を図るため、斜面市街地内に車両等が進入できる生活道路を優先的に整備しているが、用地買収や補償等に予想外の時間を要する場合もある。

河川や都市下水路を暗渠化し、道路として活用することは一つの方策であるが、都市環境としての水と緑の空間や洪水を防止するための治水空間を確保されることが必要であり、本来、開渠であることが望ましく、やむを得ず暗渠化する場合は、一定の条件を満たすことが必要である。

本市としては、地元の理解が得られ、条件が整った場所については、暗渠化を具体的に検討したいと考えている。

### ●ながさき市民カード

**議員** ながさき市民カードの位置づけと将来性について伺いたい。

**市長** 本市では、平成15年8月25日から住民基本台帳ネットワークシステムによるサービスとしてながさき市民カードを希望する市民へ交付している。当該カードの被交付者は、全国の市町村で住民票の写しが取得でき、転入の手続きの簡素化が図られ、国税の申告等において電子申告・電子申請を行うことができるほか、顔写真付きのカードの場合は、公的身分証明書として利用することができるが、平成19年8月末の普及率は23%に留まっている。



ながさき市民カード(住民基本台帳カード・写真付)

今後、同カードの付加価値を高めることが普及促進の原動力となり得ると考え、印鑑登録証の機能を持たせるなどの多目的活用に向けた検討を行っているところであり、費用対効果を見きわめ、取り巻く諸課題を整理しながら取り組んでいきたい。

### ●タクシーベイ

**議員** 赤迫交差点付近のタクシーベイの設置について伺いたい。

**市長** 赤迫交差点は、市北部地区の路面電車の発着点であることから、電車やバス、タクシー等の乗り継ぎ利便性の向上を図るべき重要な交通結節点であると認識しているが、タクシーベイの整備がなく、バスベイの一部をタク

シーが利用すると安全性や交通渋滞の面でも問題がある。同交差点から約150m北側に位置するJ R用地を活用したタクシーベイの設置についても、利用者の実態や乗りかえ需要等を検証しながら、今後とも地権者や交通管理者、道路管理者と協議し、検討していきたい。



赤迫交差点付近のバス停

また、あわせて、長崎市タクシー協会や九州運輸局長崎運輸支局等で構成する長崎市タクシー事業者推進協議会においても、タクシー事業者側と、タクシーの客待ちや乗降場所、タクシーベイの整備箇所等について具体的に協議を進めたい。

### ●入札契約制度

**議員** 入札契約制度の見直しについて伺いたい。

**市長** 本市では、今年度から建設工事の入札を制限付一般競争入札で実施しているが、不良不適合業者を排除し、工事品質をいかに確保するかが今後の大きな課題である。新たな品質確保策として、価格と品質が総合的に優れた者を落札者とする総合評価方式を今年度から試行しているが、業者の工事成績をより一層入札参加条件に反映することなどを検討しており、平成20年度